

毎年この時期に夏を迎える前のメンテナンスというお話をさせて頂いています。今年も例年通り、夏を迎える前にお勧めしたい整備事項をご紹介しますと思います。

2003年夏を迎える前のお勧め整備の話

お勧め整備(1) ブレーキオイルの交換

リッター装着車が多くなってきているせいもあり、ブレーキ廻りにかかる負荷も少なくなってきています。しかし夏になると、必ずベーパーロックを起こしブレーキが効かなくなったという修理依頼があります。ベーパーロック現象は、ブレーキ廻りに発生する熱でブレーキオイルが沸騰し、ブレーキオイルラインに気泡が発生しブレーキが効かなくなる現象です。何度も話していますが、ブレーキオイルは吸湿性があり定期交換を無視して使用していると沸点がどんどん低下していきベーパーロック現象がおきやすくなります。

長距離走行後やブレーキを頻繁に使った後ブレーキの効きがいまいちと感じたことはありませんか？

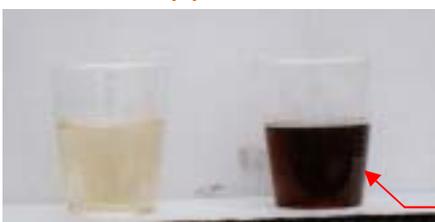
又走行後ブレーキオイルリザーバタンクからオイルが噴出した跡がありませんか？

このような症状は、ベーパーロック現象が起きているのかもしれませんが。

直ぐ国際サービスに修理依頼をしてください。夏は当然外気温が高くなっていますので、ベーパーロック現象がおきやすくなります。

暑い夏を迎える前に交換することをお勧めします。

お勧め整備(2) 作動油の交換



オイルクーラーが標準装備で付いている車が多くなってきているせいもあり、夏に連続作業をしていると、機械の作動が遅くなったり・動かなくなったという話が少なくなりましたが、夏に作動油の劣化が起因する修理依頼は多くあります。左の写真は新しい作動油と古い作動油の写真です。一目瞭然右側のコップの作動油が古いものです。こんな作動油を使っていたら、ポンプ・モーターなどの油圧機器が正常に作動している



こと自体、アンビリバボーです。作動油も暑い夏を迎える前に交換する事をお勧めします。

作動油を交換する際、作動油エレメントの交換もお忘れなく！

お勧め整備(3) ラジエーター内外の洗浄及び水の交換

暑い夏、当然エンジンの水温も上がりやすくなります。水温が過度に上がればエンジンはオーバーヒートします。

オーバーヒートの主な原因

1.ラジエーターの水量不足

ラジエーターの水量点検はこまめに行ってください。併せて水洩れの点検も行ってください。

2.ラジエーターの水の汚れ

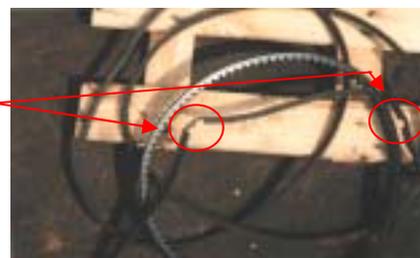
ラジエーターの水の汚れは冷却効率を低下させるばかりでなく、詰まりの原因にもなります。ラジエーターの水は1年に1度を目安に交換する事をお勧めします。クーラントの注入もお忘れなく！

3.ラジエーターコア内外の汚れ

外側の汚れや詰まりに関しては、スチームクリーナーなどで洗浄してください。その際コアのフィンに潰さないように注意が必要です。内側の汚れに関しては、洗浄剤を注入し洗浄を行ってください。洗浄剤に明記してある注意事項をよく読み、行ってください。

4.ファンベルトの損傷・緩み

国際サービスにオーバーヒートで入工する車の殆どが、ファンベルトの切損によるものです。右の写真は切れ掛かって取外したファンベルトです。ファンベルトが切れていたらオーバーヒートを起こしていたかもしれません。緩みや損傷は定期的に点検し、調整もしくは交換を行ってください。



毎年お話していますが、暑い夏を乗りきるために、通常時期よりメンテナンスに注意することが必要です。国際サービスでは、ご紹介した作動油やブレーキオイル・クーラントのほかにも各種オイル・エレメント・タイヤ・ワイヤーなどなど格安で販売させて頂く、サマーキャンペーンを例年通り行います。今年も7月・8月を予定していますので、是非ご利用ください。

お知らせ

今年の10月から東京・埼玉・神奈川・千葉でディーゼル車規制が開始されます。お持ちのお車は大丈夫ですか？国際サービスでは八都県市ディーゼル規制に適合する、DPF・酸化触媒の取付を行っています。期限がせまってきています、お早めにお問い合わせください。

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。